



# LRQA 独立保証声明書

## ブラザーグループの 2021 年度温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量データに関する保証

この保証声明書は、契約に基づいてブラザー工業株式会社に対して作成されたものである。

### 保証業務の条件

LRQA リミテッド（以下、LRQA という）は、ブラザー工業株式会社（以下、BIL という）からの委嘱に基づき、2021 年度（2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）のコーポレート Web サイト等に掲載されるブラザーグループの温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量データ（以下、報告書という）に対して、検証人の専門的判断による重要性水準において、ISAE 3000（改訂版）及び温室効果ガス（GHG）については ISO14064-3:2019 を用いて、限定的レベルの独立保証業務を実施した。

LRQA の保証業務は、BIL とその国内外連結対象子会社における運営及び活動<sup>1</sup>に対して、以下の要求事項を対象とする。

- BIL の定める報告手順への適合性の検証
- 以下の指標に関するデータの正確性及び信頼性の評価<sup>2</sup>
  - スコープ 1 GHG 排出量 (トン CO<sub>2</sub>e)
  - スコープ 2 GHG 排出量 [マーケット基準およびロケーション基準] (トン CO<sub>2</sub>e)
  - スコープ 3 GHG 排出量 (カテゴリー 1-15) (トン CO<sub>2</sub>e)
  - エネルギー使用量 (MWh、kL、トン、千 m<sup>3</sup>、GJ)

LRQA の責任は、BIL に対してのみ負うものとする。本声明書の脚注で説明されている通り、LRQA は BIL 以外へのいかなる義務または責任を放棄する。BIL は報告書内の全てのデータ及び情報の収集、集計、分析及び公表、及び報告書の基となるシステムの効果的な内部統制の維持に対して責任を有するものとする。報告書は BIL によって承認されており、その責任は BIL にある。

### LRQA の意見

LRQA の保証手続の結果、BIL が全ての重要な点において、

- 自らの定める基準に従って報告書を作成していない
- 下表 1、表 2 及び表 3 に要約される正確で信用できる GHG 排出量及びエネルギー使用量を開示していない

ことを示す事実は認められなかった。

この保証声明書で表明された検証意見は、限定的保証水準<sup>3</sup>、及び検証人の専門的判断に基づいて決定された。

<sup>1</sup> BIL の一部の営業拠点からの GHG 排出量はブラザーグループの総 GHG 排出量と比較して少量であるため、実績から除外している。

<sup>2</sup> GHG の定量化には固有の不確かさが前提となる。

<sup>3</sup> 限定的保証業務の証拠収集は、合理的保証業務に比べて少ない範囲で行われ、各拠点を訪問して元データを確認するより集計されたデータに重点を置いている。従って、限定的保証業務で得られる保証水準は、合理的保証業務が行われた場合に得られたであろう保証に比べて実質的に低くなる。

表1. ブラザーグループの2021年度GHG排出量の要約

スコープ	t CO <sub>2</sub> e
スコープ1 GHG 排出量	18,724
スコープ2 GHG 排出量 (ロケーション基準)	105,317
スコープ2 GHG 排出量 (マーケット基準)	105,099
スコープ3 GHG 排出量	2,942,352
1. 購入した製品サービス	1,404,939
2. 資本財	86,955
3. Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	11,838
4. 輸送、配送 (上流)	138,978
5. 事業から出る廃棄物	2,849
6. 出張	1,887
7. 雇用者の通勤	14,819
8. リース資産 (上流)	4,101
9. 輸送、配送 (下流)	15,366
10. 販売した製品の加工	0
11. 販売した製品の使用	995,115
12. 販売した製品の廃棄	263,618
13. リース資産 (下流)	1,886
14. フランチャイズ	0
15. 投資	0

表2. ブラザーグループの2021年度エネルギー使用量の要約

スコープ	使用量	GJ 換算値
電気	207,083.4 MWh	745,499.7 GJ
ガソリン	2,927.6 kL	95,972.9 GJ
灯油	17.7 kL	621.4 GJ
軽油	929.8 kL	33,584.7 GJ
重油	9.2 kL	317.4 GJ
スチーム		1.4 GJ
LPG	163.9 t	7,752.9 GJ
都市ガス	4,677 千 m <sup>3</sup>	157,162.4 GJ
温熱源 (温水等)		540.5 GJ

表3. ブラザーグループの2021年度カテゴリ別 GHG 排出量の要約<sup>4</sup>

カテゴリ	ロケーション 基準 tCO <sub>2</sub> e	マーケット基 準 tCO <sub>2</sub> e
スコープ 1 排出量	18,724	18,724
1. 直接的排出と吸収	18,724	18,724
1.1 移動燃焼源からの直接的排出	9,195	9,195
1.2 固定燃焼源からの直接的排出	9,404	9,404
1.3 人為的 GHG 発生源からの直接的排出	125	125
スコープ 2 排出量	105,317	105,099
2. 供給されたエネルギーの使用に伴う間接的排出	105,317	105,099
2.1 供給された電力の使用に伴う間接的排出	105,286	105,069
2.2 供給されたエネルギー（電気を除く）使用に伴う間接的排出	31	31
スコープ 3 排出量	2,942,352	2,942,352
3. 輸送に伴う間接的排出	171,050	171,050
3.1 輸送・配送（上流）	138,978	138,978
3.2 輸送・配送（下流）	15,366	15,366
3.3 雇用者の通勤	14,819	14,819
3.4 出張	1,887	1,887
4. 組織で使用されるプロダクトからの間接的排出	1,510,683	1,510,683
4.1 購入した製品・サービス	1,404,939	1,404,939
4.2 資本財	86,955	86,955
4.3 エネルギー関連活動（上流）	11,838	11,838
4.4 事業から出る廃棄物	2,849	2,849
4.5 リース資産（上流）	4,101	4,101
5. 販売した製品の使用に関連する間接的排出	1,260,619	1,260,619
5.1 販売した製品の加工	0	0
5.2 販売した製品の使用	995,115	995,115
5.3 販売した製品の廃棄	263,618	263,618
5.4 リース資産（下流）	1,886	1,886
5.5 フランチャイズ	0	0
5.6 投資	0	0
6. 上記以外の排出源からの間接的排出	算定対象なし	算定対象なし
合計	3,066,393	3,066,176

再生可能エネルギー消費量	4,761 MWh
自家発電量	532 MWh
購入した再生可能エネルギー量	4,229 MWh

### 保証手続

LRQA の保証業務は、ISAE3000（改訂版）と GHG については ISO14064-3:2019 に従って実施された。保証業務の証拠収集プロセスの一環として、以下の事項が実施された。

<sup>4</sup> 表3 は ISO14064-1:2018 のカテゴリ及びサブカテゴリを参照して作成されたものである。

- 報告書内に重大な誤り、記載の漏れ及び誤りが無いことを確認するための、BIL のデータマネジメントシステムを審査した。LRQA は、内部検証を含め、データの取扱い及びシステムの有効性をレビューすることにより、これを行った。
- データの収集と報告書の作成に関わる主たる関係者へのインタビューを行った。
- サンプルング手法を用いて、集計されたデータの再計算と元データとの突合を行った。
- 2021 年度の GHG 排出量及びエネルギー使用量に関する記録および情報の検証を行った。
- 星崎工場の敷地境界周辺を目視確認した。
- COVID-19 の世界的な感染拡大に伴う BIL の「訪問者の職場への入場制限」の実施により、データマネジメントシステムの有効性を確認するため、星崎工場及びエクシングは、電子メール及び Microsoft Teams を使用したリモート検証により実施した。

### 推奨事項

BIL がさらなる改善の機会を積極的に模索し、GHG インベントリの効率的かつ正確な集計及び算定を確実にすることを期待する。

### 基準、適格性及び独立性

LRQAはISO14065 温室効果ガス—認定又は他の承認形式で使用するための温室効果ガスに関する妥当性確認及び検証を行う機関に対する要求事項、ISO17021-1 適合性評価—マネジメントシステムの審査及び認証を行う機関に対する要求事項 - 第1部：要求事項の認定要求事項に適合する包括的なマネジメントシステムを導入し、維持している。これらは国際会計士倫理基準審議会による国際品質管理基準第1号と職業会計士の倫理規定における要求も満たすものである。

LRQAはその資格、トレーニング及び経験に基づき、適切な資格を有する個人を選任することを保証する。全ての検証及び認証結果は上級管理者によって内部でレビューされ、適用された手続が正確であり、透明性があることを保証する。

LRQAがBILに対して実施した業務はこの検証のみであり、それ自体が我々の独立性あるいは中立性を損なうものではない。

署名

日付：2022年6月6日



田上 幸治

LRQA 主任検証人

LRQA リミテッド

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2-3-1 クイーンズタワーA 10F

LRQA reference: YKA4005060

LRQA, its affiliates and subsidiaries, and their respective officers, employees or agents are, individually and collectively, referred to in this clause as 'LRQA'. LRQA assumes no responsibility and shall not be liable to any person for any loss, damage or expense caused by reliance on the information or advice in this document or howsoever provided, unless that person has signed a contract with the relevant LRQA entity for the provision of this information or advice and in that case any responsibility or liability is exclusively on the terms and conditions set out in that contract.

The English version of this Assurance Statement is the only valid version. LRQA assumes no responsibility for versions translated into other languages.

This Assurance Statement is only valid when published with the Report to which it refers. It may only be reproduced in its entirety.

Copyright © LRQA, 2022.